

第179回 原医研セミナーのご案内

下記のとおりセミナーを開催いたします。多数ご参集ください。

記

日 時： 平成28年2月19日（金）午後4時～
場 所： 霞総合研究棟 7階 701セミナー室

演 題： 中心小体サテライトを介した中心体機能制御の新展開
Exploring the roles of centriolar satellites in the regulation of centrosome functions

講 師： 広島大学先端物質科学研究科分子生命機能科学専攻
特任教授 登田 隆 先生

中心体 (centrosome) は、その名前が表しているように、多岐にわたる細胞機能-染色体分配、細胞周期進行、細胞形態・運動・極性、繊毛形成等-において中心的役割を担う。その多様な機能の多くは-全部ではないが-、中心体が備えもつ微小管形成中心 (Microtubule Organising Centre-MTOC) としての活性に起因する。動物細胞中心体は一对の中心小体 (centriole) とそれを囲むメッシュ状の中心小体周縁物質 (pericentriolar material) から構成されることが知られていた。さらに近年、中心体の周りを衛星のように取り巻き動的な軌跡を示す多数の粒子-中心小体サテライト (centriolar satellites) -が発見され、その生物学的機能、構成因子に大きな注目が集まっている。

本講演では、中心体・中心体サテライトの細胞機能に焦点を当てて、特に演者のグループが同定した酵母 (中心体相同構造は紡錘極体-spindle pole body-SPB と呼称される) からヒトにまで進化上保存された新規タンパク質をハイライトに、我々の最新の成果について議論したい。

連絡先： 広島大学原爆放射線医科学研究所
放射線ゲノム疾患研究分野 (内線 5811)

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
082-257-1639 (内線 6279)